

すまいの部会の報告

(平成 28 年 10 月～平成 29 年 2 月)

部会開催 平成 28 年 10 月 7 日、11 月 7 日、12 月 2 日、平成 29 年 1 月 6 日、2 月 3 日

1 DVD の活用状況(平成 28 年 10 月～平成 29 年 2 月)

	相談時利用	研修等利用	個人・団体貸出	複製
障がい福祉課	0	2	2	0
春日苑	0	0	0	0
しゃきょう	0	0	0	0
かすがい	0	1	0	0
JHN まある	0	0	1	0
あっとわん	0	0	0	0
中部大学 向研究室	0	5	0	0
合計	0	8	3	0

【感想等】

- ・当事者のライフステージを見据えての情報収集になった。
- ・将来の日常の様子が垣間見れてよかったです。
- ・福祉サービスの利用の仕方や、生活の様子がよくわかりました。
ひとり暮らし編で、身体に重度の障がいのある人の事例があるとありがたいと思います。
個人的にどのようなものか知りたくて借りましたが、関心を持っている人は他にもいるので、勉強のためにまたお借りしたいと思いました。

2 障がいのある方の自立した暮らし事例集活用状況

1 月 6 日、UR との意見交換で使用しました。

3 事例集について

- ・「障がいのある方の自立した暮らし事例集」として 10 月末で完成し 11 月 4 日付けで部会員、事例提供元に発送した。掲載は最終的に 11 事例となった。
- ・入所している若い方や当事者団体の研修などで、事例集を見ることで「自分(わが子)も自立した生活を送ることができる」ことの参考にしてもらうこと等で活用が期待できると思う。
- ・活用にあたり、個人情報保護のために事例集は研修等で使用しても回収することとし、ホームページへの掲載もしないこととした。
- ・事例を見るときに知りたい情報として家賃や本人の収入などがあり、具体的な金額(家賃、収入等)を書くことで個人が特定されてしまうのではないかと考え、本人に関して特定できないように工夫した(障害支援区分、性別の記載をしない)。
- ・事例集の使用者は、当事者団体、支援センター、地域アドバイザー、障がい福祉課とした。
- ・各事例のタイトル、障がい種別、状況を一覧にし、研修会で資料として配付できるものを作成した。
- ・事例集は、障がい福祉課で 20 冊保管し、必要な時に貸し出す。
- ・研修時に使う補助的資料として、経済状況、人・社会資源図、サービス利用状況をピックアップし、パワーポイントで作成する。

- ・障がい福祉サービス事業所が研修を行う場合は、支援センターに協力を依頼することとした。
- ・事例集の活用は、DVD同様、地域自立支援協議会で実績を報告し、感想等も聞けると良いと考えている。

4 URとの意見交換

1月6日実施

意見交換の振り返り

- ・URの現場管理部門の担当者を迎えて意見交換を実施した。
- ・URにある空き店舗や空室などの福祉的利用について担当部門があることが分かった。
- ・市営住宅より入居条件が緩やかで、利用しやすいように感じた。
- ・障がいによる特例等に、障がい種別・等級による差があるのではないかと感じられた。

5 その他

今後部会での取り組みとして、次のような意見がでた。

- ・事例集をもとに住宅施設課、商工会議所に加盟している企業、不動産関係、生活保護のワーカーと意見交換を行ってはどうか。また、URとは申し込みの際の窓口担当の方との意見交換をしてみてもどうかとの意見があった。
- ・家探しがスムーズにできるような仕組みを考えていきたい。(安心賃貸支援事業が機能するような仕組みを考える)